

I. 平成30年度の実績

グループ名称	加茂の家				
H30採択グループ番号	07	—	0256	—	0383

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	木造軸組工法、金物工法、胴差金物工法とし、長寿命型は基礎及び構造においてはスパン表ではなく許容応力度計算を実施し、横架材に関しては積雪荷重を考慮した。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	無	開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	無					
	内容						
取組み②	サポートの有無 2						
	内容						
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先		機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無		
内容			
② H30年度における施工構成員の廃業	無		
対応内容			

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有		
内容	大容量の太陽光パネルが搭載できるデザインを有した住宅とし、地域に合わせた日射や風の流れを考慮した配置計画を行う。		
省エネ化に対する取組 ②			
内容			
BELS工務店の登録数	2 社		

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	加茂の家			
H30採択グループ番号	07	—	0256	— 0383

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/10	名称	加茂の家 グリーン化事業説明会		
	内容	施工事業に対してグループの取組み、共通ルールの説明会を行う。						
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/09	名称	加茂の家 グリーン化事業研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						
	内容	当グループのグリーン化事業に対する取組み、基本方針等を個別に案内、サポートする。						
取組み ②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み ③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先		機関名	
------------	--	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無		
内容			

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有		
内容	パッシブ設計を取り入れ、軒・庇・緑化等を活用する。当該地域の高温多湿な気候を考慮した設計を行う。		
省エネ化に対する取組み (改修)			
内容			

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日	
内容			
研修計画 ②		実施日	
内容			

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	加茂の家				
H30採択グループ番号	07	—	0256	—	0383

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	長寿命型は耐震性能2等級以上を確保すると共に、将来の間取りの柔軟性を持たせる構造壁の設置を設計に取り入れ可変性を考慮する。 また、28年度省エネ基準の断熱性能を基本性能とし、地域の通風・採光を考慮した設計とする。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	主たる構造材(土台・梁・桁・柱)には地域材である合法木材を使用する。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有			
造作材	枠材、廻縁等	有			
板材	壁板、床板等	有			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	共通ルールに基づいた材を、川上から川下までの事業者がしっかりと認識し合い調達する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	事務局が流通を行うため、活用物件の木材・建材使用料を把握し効率的な供給を行う。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	地盤調査を実施し安全を担保した上での設計を行う。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	無	
内容		
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	住宅性能の担保に大きく影響する部分については工事記録書に基づきグループ内でインナーチェックを行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	一式表示ではなく、材種・数量・単価を明確に表記する。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	無	内容	
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	無	内容	

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	加茂の家				
H30採択グループ番号	07	—	0256	—	0383

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	伝統的工法や地域独特の技に見られる技法の要素も地域制をあらわすデザインの一つである、地域の伝統建築物を継承していく。
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	それぞれの地域の自治体等による地域計画等周辺地域の景観に配慮する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	